

運輸部



船員になるための資格について学習

我が国は四面を海に囲まれ、物資輸送の多くを海上輸送に依存しており、安定的な海上輸送を確保することは国民生活にとって大変重要なことです。

現在、国内輸送に従事する船員数は横ばいで推移していますが平均年齢も高く、数年後には多くの船員不足が生じるとされていることから、安定的な国内輸送のため若年の船員を確保・育成していくことが緊急の課題となっています。

この状況を踏まえ運輸部では、6月に関係事業者団体等を構成員と

POINT

沖縄若年内航船員確保推進協議会（事務局：沖縄総合事務局運輸部）では、「進路段階の中学生を対象に船員志望に資する体験学習」を実施しました。

目指せ船員！体験学習を実施



沖縄水産高校の教諭による海洋技術科の紹介

して「沖縄若年内航船員確保推進協議会」を設けました。

当協議会の初めての事業取組みとして「進路段階の中学生を対象に船員志望に資する体験学習」を沖縄水産高校で8月10日に実施しました。

当日参加した那覇市・糸満市等の中学生20名は、海技資格を含めた船員の仕事、沖縄水産高校在校生による学校生活の紹介や同校OBによる体験談、操船シミュレータによる海上衝突予防などの学習を通して



操船シミュレータの説明を受ける生徒たち

船員の仕事について、理解を深めました。

体験学習後のアンケートでは、生徒の大部分がこれまで船員の仕事は知らなかったとのことでしたが、「今回の学習を契機に船員を目指し沖縄水産高校へ進学したい。」と答えた生徒もいました。

当協議会としては、一人でも多くの中学生等若年者が船員を志望するよう今後も引き続き海事思想の普及・啓発活動を含め、海事産業の人材の確保・育成に関する取組みを推進します。



船員の仕事について講義



OBによる体験談